

平成29年2月2日

## 接続料金改定の認可申請について

NTT東日本は、本日、総務大臣に対し、平成27年度接続会計をもとに算定した平成29年度に適用する次世代ネットワーク、接続専用線、公衆電話、番号案内等の接続料金及び長期増分費用方式により算定した電話の交換機等の接続料金について、接続約款変更の認可申請を行いました。

また、併せて、昨年設定した平成29年度の加入光ファイバの接続料金についても、平成27年度における予測と実績の差分を補正し、認可申請を行いました。

### 1. 接続料金案

別紙のとおりです。

### 2. 実施時期

総務大臣の認可を得た後、速やかに接続約款の変更を実施します。

### 別紙・参考資料

(別紙) サービス別の主な接続料金案

(参考1) 平成27年度の利用者向け料金と接続料金の水準の比較

(参考2) 優先パケット識別機能及び優先パケットルーティング伝送機能の概要

### 本件に関する問い合わせ先

NTT東日本 経営企画部

Tel 03-5359-3960

E-mail eiki1-ml@east.ntt.co.jp

(別紙)

サービス別の主な接続料金案

(1) 次世代ネットワークの接続料金

区 分		改定後 <sup>※2</sup>	現行料金	改定率
関門交換機接続ルーティング伝送機能 【IGS接続機能】	3分あたり <sup>※1</sup>	1.50円	2.22円	▲32.4%
一般中継局ルータ接続ルーティング伝送機能 【中継局接続機能】	1接続用ポート ごとに月額	4,583,333円	4,312,500円	6.3%
一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能 【収容局接続機能】	1収容局ルータ装置 ごとに月額	1,196,836円	1,163,278円	2.9%
一般収容局ルータ優先パケット識別機能 <sup>※3</sup> 【優先パケット識別機能】	1契約 ごとに月額 <sup>※4</sup>	2.01円	—	—
一般中継局ルータ優先パケットルーティング伝送機能 <sup>※3</sup> 【優先パケットルーティング伝送機能】	1Mbitまで <sup>※4</sup> ごとに月額	0.035668円	—	—

※1 3分あたり料金について、改定後料金には平成29年度IGS交換機接続料0.22円を含んでいます。

※2 平成27年度の実績をもとに平成29年度の費用と需要を予測して設定しています。

※3 優先パケット識別機能および優先パケットルーティング伝送機能は、平成29年度より新たに設定しています。

※4 事業者ごとの予測利用量（契約数・通信量）に応じて事業者ごとの負担額を予め決定します。

年度の実績利用量が確定した段階で事業者ごとの実績利用量に応じて精算を実施します。

(2) イーサネットフレーム伝送機能等の接続料金

区 分		改定後 <sup>※</sup>	現行料金	改定率		
イーサネット フレーム伝送 機能	M A 内 設 備	100Mb/s	事業者ごと MAごとに月額	388,650円	404,212円	▲3.8%
		1Gb/s		1,005,510円	1,045,505円	▲3.8%
		10Gb/s		2,706,255円	2,797,442円	▲3.3%
	県内中継設備	100Mb/s	事業者ごと 県ごとに月額	154,649円	176,081円	▲12.2%
		1Gb/s		400,432円	455,137円	▲12.0%
		10Gb/s		1,080,962円	1,214,821円	▲11.0%
相互接続用設備		1装置ごとに月額	173,889円	266,250円	▲34.7%	
端 末 回 線 伝 送 機 能	100Mb/s以下	1回線ごとに月額	4,185円	4,412円	▲5.1%	
	1Gb/s以下		7,910円	8,129円	▲2.7%	

※ 平成27年度の実績をもとに平成29年度の費用と需要を予測して設定しています。

(3) 接続専用線等の接続料金

区 分		改定後 <sup>※2</sup>	現行料金	改定率	
一 般 専 用	3.4kHz <sup>※1</sup>	1回線ごとに月額	13,057円	12,160円	7.4%
高 速 デ ィ ジ タ ル 伝 送	デジタルアクセス 1.5Mb/s <sup>※1</sup> (タイプ1-1)	1回線ごとに月額	114,221円	95,314円	19.8%

※1 接続専用線については、MA内の場合

※2 平成27年度における実績収入と実績原価との差額（調整額）を平成27年度実績費用に加減して設定しています。

なお、ATM専用及びメガデータネットについては、平成29年度3月31日をもって新規受付を終了します。

(4) 公衆電話、番号案内の接続料金

区 分		改定後 <sup>※1</sup>	現行料金	改定率
公衆電話発信機能	1秒ごとに	2,469円 <sup>※2</sup>	2,066円	19.5%
デジタル公衆電話発信機能	1秒ごとに	1,746円 <sup>※2</sup>	1,242円	40.5%
番号案内サービス接続機能	IC接続 1案内ごとに	258円	197円	31.0%

※1 平成27年度における実績収入と実績原価との差額（調整額）を平成27年度実績費用に加減して設定しています。

※2 特設公衆電話のアクセス回線に係るコストを平成27年度実績費用に加算して料金を設定しています。

(5) 中継光ファイバ、DSL接続の接続料金

区 分		改定後 <sup>※1</sup>	現行料金	改定率
中継光ファイバ	1芯・1メートル あたり月額	1,060円	0,885円	19.8%
DSL接続	ラインシェアリング	98円 <sup>※2</sup>	100円	▲2.0%
	ドライカッパ	1,629円 <sup>※3</sup>	1,438円	13.3%

※1 平成27年度における実績収入と実績原価との差額（調整額）を平成27年度実績原価に加減して設定しています。

※2 DSL接続(ラインシェアリング)については、回線管理運営費(1回線ごとに月額44円)を含んでいます。

※3 DSL接続(ドライカッパ)については、回線管理運営費(1回線ごとに月額54円)を含んでいます。

また、調整額の一部を平成30年度の接続料原価に繰り延べ、調整額に起因する接続料水準の急激な変動を緩和しています。

(6) 電話の交換機等の接続料金

区 分		改定後 <sup>※</sup>	現行料金	改定率	
GC接続	3分あたり	6.38円	6.05円	5.5%	
IC接続	3分あたり	7.68円	7.33円	4.8%	
中継伝送専用機能	MA内・24回線 <1.5Mbit/s相当> の場合月額	13,870円	15,158円	▲8.5%	
加入者交換機回線対応部専用機能	24回線 <1.5Mbit/s相当> ごとに月額	18,691円	19,244円	▲2.9%	
中継交換機回線対応部専用機能	24回線 <1.5Mbit/s相当> ごとに月額	1,336円	1,383円	▲3.4%	
中継交換機接続用伝送装置利用機能	672回線 <50Mbit/s相当> ごとに月額	21,537円	21,487円	0.2%	
加入者交換機等 接続回線設置等工事費	定期申込み	672回線 <50Mbit/s相当> ごとに	161,047円	162,912円	▲1.1%
	随時申込み	672回線 <50Mbit/s相当> ごとに	217,413円	229,706円	▲5.4%

※ 総務省から通知された長期増分費用モデルに基づき、平成28年度下期及び平成29年度上期の予測通信量等を用い設定しています。

また、交換機等費用に含まれるNTSコストについては、第一種指定電気通信設備接続料規則に基づき、き線点RT-GC間伝送路コストの全額を加算し、それ以外のNTSコストは全額控除しています。

(7) 加入光ファイバの接続料金

区 分		改定後 <sup>※2</sup>	現行料金	改定率
シェアドアクセス方式の主端末回線 <sup>※1</sup>	1芯ごとに月額	2,490円	2,675円	▲6.9%
シングルスター方式	1芯ごとに月額	2,953円	3,163円	▲6.6%

上記料金は、タイプ1-1（平日昼間帯に故障対応を行う場合）の1芯あたり月額料金。

※1 シェアドアクセス方式の主端末回線の改定後料金には、毎年度実績原価方式により見直すこととなる局外スプリッタの平成29年度適用料金（74円）を含んでいます。

※2 平成28年7月に設定した平成29年度適用料金（シェアドアクセス方式の主端末回線：2,474円、シングルスター方式：2,935円）に、平成27年度における収入と原価の差額に係る見込み値と実績値との差額を加減して補正（シェアドアクセス方式の主端末回線：+16円、シングルスター方式：+18円）したものです。

なお、上記料金とは別に、平成29年度のシェアドアクセス方式の分岐端末回線の接続料金（改定後421円、改定前405円）※当社の光屋内配線を利用の場合）についても見直ししています。

(参考1)

### 平成27年度の利用者向け料金と接続料金の水準の比較

(単位:億円)

サービス	①利用者 料金収入	②接続料金 相当	③差分 (①-②)
加入電話・ISDN 基本料	2,786	2,223	563
加入電話・ISDN 通話料	259	140	119
公衆電話(デジタル公衆を含む)	10	69	▲ 59
番 号 案 内	13	46	▲ 33
B フ レ ッ ツ	89	32	57
フ レ ッ ツ A D S L	186	49	137
フ レ ッ ツ I S D N	12	6	6
フ レ ッ ツ 光 ネ ク ス ト	4,358	1,647	2,711
フ レ ッ ツ 光 ラ イ ト	231	141	90
ひ か り 電 話	1,290	290	1,000
ビ ジ ネ ス イ ー サ ワ イ ド	258	118	140

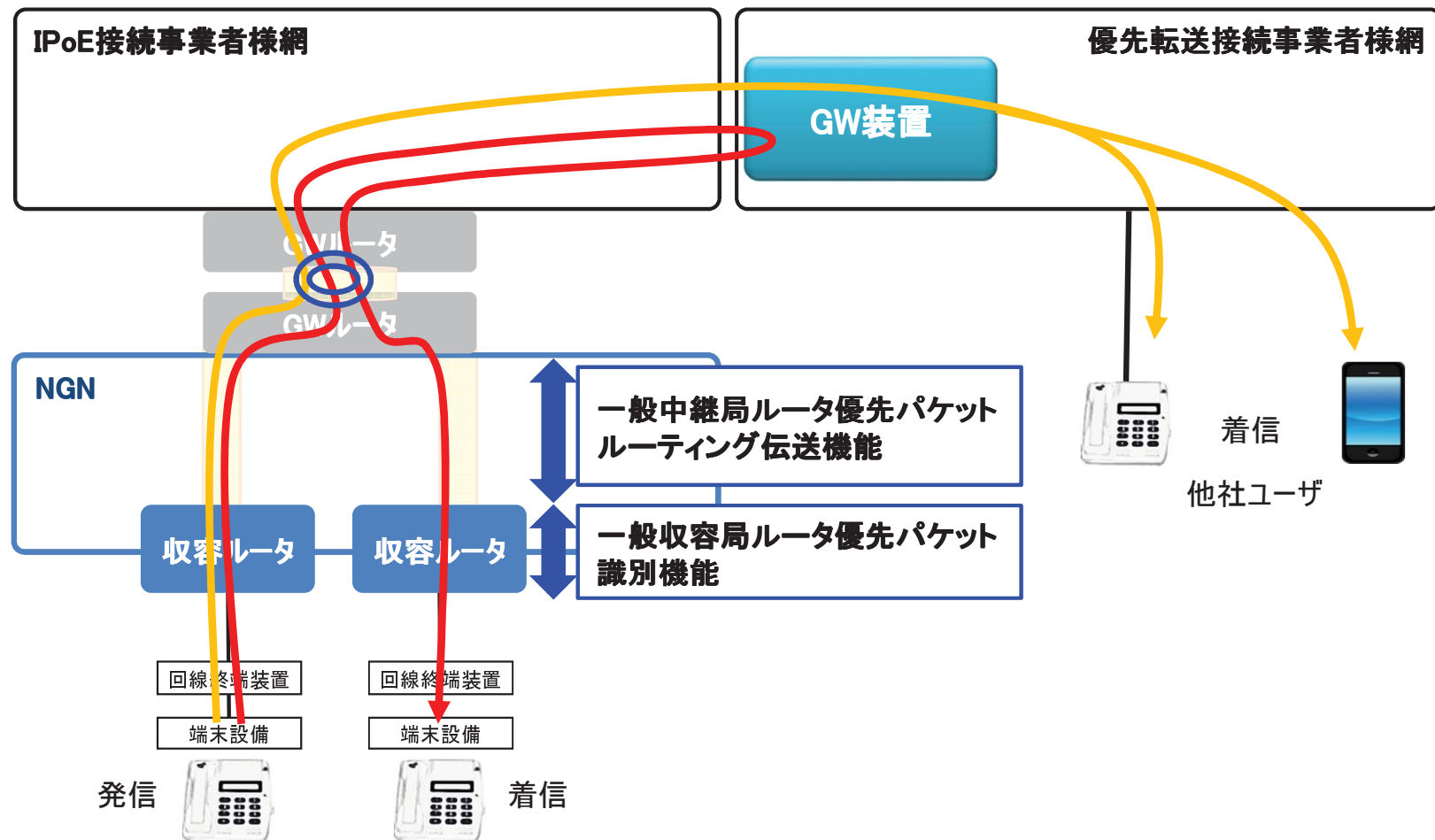
(注1) 接続料金相当は、各サービスで使用する設備ごとの需要数に今回申請した接続料金を乗じて算定しています

(注2) 加入電話・ISDN 基本料の接続料金相当には、回線数の増減に応じて当該設備に係る費用が増減するものに係る費用(NTSコスト)の364億円は含んでいません。

## (参考2) 優先パケット識別機能及び優先パケットルーティング伝送機能の概要

接続事業者様がNGN上において一定の通信品質を確保したOAB-J IP電話等を実現するために、收容ルータに契約者ごとの利用条件、GWルータにポートごとの利用条件を設定し、NGNの各ルータにおいて優先クラスの packets をベストエフォートクラスの packets よりも優先して転送する機能。

<通信形態のイメージ>



優先転送接続事業者様のOAB-J IP電話サービス等利用ユーザ  
(フレッツ光または光コラボレーションモデル利用ユーザが契約)